

U.S. Indicators

発表日: 2020 年 6 月 17 日(水)

米国 5月小売売上高はロックダウン解除で急回復

～回復の勢いは不十分～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 03-5221-5001)

米国では、3月以降の新型コロナウイルス感染の急激な拡大を背景に、州・都市別に異なるタイミングで感染拡大を抑制するための外出制限などロックダウンが3月中旬から行われた。これを受け、生活必需品を中心に買いだめの動きがでた一方、不要不急の耐久財や外食、余暇サービスなどの消費需要は急激な縮小を余儀なくされ4月に急減した。

しかし、4月下旬からのロックダウンの段階的な解除を受け、閉店していた店舗が再開され、外出も増加したことなどによって、消費活動は回復し始めた。3、4月に労働市場が急激に悪化したのが、失業保険の給付拡大などの政府支援策によって所得は増加を続けているほか、失業者の大多数は自分自身が一時的な休職と認識しているため新型コロナウイルスの問題が落ち着けば職場復帰できると考えていること、企業が販促を強化したこと等によって、4月末以降の小売売上高は急激に回復している。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大が高水準で続いていることから、ソーシャルディスタンスを維持せざるを得ず、新型コロナウイルス危機前の売上高を取り戻すには時間がかかると予想される。

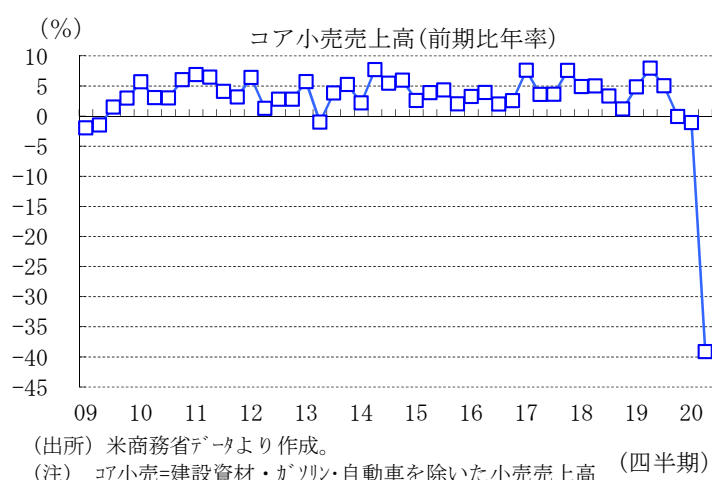
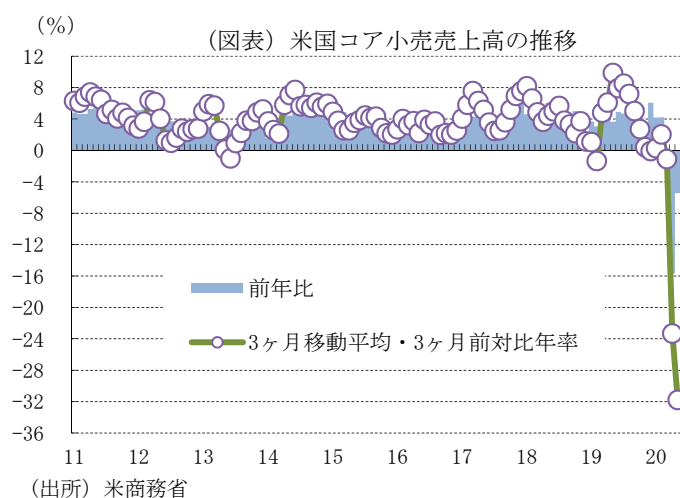
5月の小売売上高は前月比+17.7%と過去最大の増加幅となり、市場予想中央値の前月比+8.4%を大幅に上回った。また、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は、前月比+12.4%（前月同▲15.2%）と過去最大の増加幅となった。増加幅は市場予想中央値（前月比+5.5%）の2倍強となった。

小売売上高の基調を判断するうえで重要なコア小売売上高（自動車・ガソリン・建材を除く小売・飲食サービス売上高）は、前月比+12.9%（前月同▲15.4%）と過去最大の増加幅となった。もっとも、コア小売売上高の基調をみると、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で5月に▲31.8%（4月▲23.3%）とマイナス幅を拡大した。また、4、5月平均では1-3月期比年率▲39.1%と1-3月期の前期比年率▲1.1%、10-12月期の前期比年率▲0.1%からマイナス幅を大幅に拡大しており、4-6月期の個人消費の急減が避けられないことを示している。

5月は主要な13業態全てで売上高の拡大となった。無店舗小売は外出制限が緩和された後も、外出を控えた人々も多かったことから高い伸びとなり好調さを維持した。他には、外出の抑制で需要が伸びている建設資材店、食品・飲料、百貨店など一般小売、自粛疲れや健康増進需要などでスポーツ用品・本・趣味用品などが堅調だった。また、自動車・同部品は、ゼロ金利ローンなどの販促強化によって大幅に増加した。さらに、衣料品、家具は3、4月の落ち込みを上回って急回復した。一方、家電、ガソリンスタンド、薬局、その他小売のほか、営業が再開された飲食店は大幅に増加したが、3、4月の落ち込みを取り戻せていない。

5月小売売上高（前月比▲16.45%）の主要13項目の前月比寄与度をみると、すべての業態が押し

上げ寄与となった。大きい順に、自動車・同部品+8.96%（4月▲2.04%）、衣料品+3.14%（同▲0.51%）、飲食店+2.31%（同▲2.51%）、無店舗小売+1.61%（同+1.83%）、家具+1.43%（同▲0.48%）、スポーツ用品・本・趣味用品+1.26%（同▲0.30%）、建設資材+0.82%（同▲0.19%）、ガソリンスタンド+0.78%（同▲1.54%）、百貨店を含む一般小売+0.73%（同▲1.85%）、家電+0.59%（同▲0.39%）、食品・飲料+0.29%（同▲2.20%）、その他小売り+0.24%（同▲0.48%）、薬局+0.02%（▲1.00%）となった。



小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
			除く車	自動車	家具	家電	衣料品	ガソリン		
19/05	+0.4	(+2.9)	+0.3	+0.0	+0.5	▲0.1	+0.7	+0.4	▲0.4	▲1.0
19/06	+0.4	(+3.6)	+0.4	+0.4	+0.4	+0.1	▲0.4	+0.3	+0.4	▲2.1
19/07	+0.6	(+3.6)	+0.7	+0.4	+0.2	+0.0	+0.8	+0.7	+0.7	+1.5
19/08	+0.4	(+4.3)	+0.1	+1.8	+1.9	+0.3	▲0.4	▲0.1	▲0.6	▲1.4
19/09	▲0.4	(+4.0)	▲0.3	▲1.0	▲1.1	+1.2	+0.4	▲0.4	▲0.1	▲0.5
19/10	+0.5	(+3.3)	+0.4	+0.6	+0.9	▲0.8	▲0.6	+0.6	▲0.4	+1.6
19/11	+0.0	(+3.3)	▲0.3	+1.1	+1.5	+0.2	▲0.4	▲0.3	▲0.6	+0.6
19/12	+0.1	(+5.6)	+0.5	▲0.8	▲1.6	▲1.9	+0.5	+0.4	+2.8	+1.2
20/01	+0.8	(+4.9)	+0.8	+1.5	+0.8	+4.0	+0.8	+0.4	▲0.6	▲0.6
20/02	▲0.4	(+4.5)	▲0.5	▲0.7	▲0.4	▲0.1	▲1.3	▲0.3	▲1.6	▲2.9
20/03	▲8.2	(▲5.6)	▲3.8	▲19.6	▲25.9	▲22.1	▲17.6	+2.3	▲48.7	▲16.5
20/04	▲14.7	(▲19.9)	▲15.2	▲13.5	▲12.3	▲48.4	▲43.2	▲12.3	▲75.2	▲24.4
20/05	+17.7	(▲6.1)	+12.4	+36.1	+44.1	+89.7	+50.5	+9.1	+188.0	+12.8

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

